国立大学法人東京農工大学大学院工学府教育規則を次のとおり改正する。

現行

国立大学法人東京農工大学大学院工学府教育規則

平成16年4月1日 16工教 規則第2号

第1条~第2条 省略

第3条 前期2年の課程(以下「博士前期課程」という。)の専攻ごとの授業科目及び単位数は、別表第1のとおりとする。

2 博士前期課程の学生は、必修科目6単位及び選択科目24単位以上をあわせて30単位以上を修得しなければならない。ただし、生命工学専攻にあっては、必修科目10単位、選択必修科目6単位以上及び選択科目をあわせて30単位以上修得しなければならない。機械システム工学専攻にあっては、必修科目9単位、選択必修科目6単位以上及び選択科目をあわせて30単位以上修得しなければならない。物理システム工学専攻にあっては、必修科目6単位、選択必修科目(2科目群から各々6単位以上選択)12単位以上及び選択科目をあわせて30単位以上修得しなければならない。情報工学専攻にあっては、必修科目6単位、選択必修科目10単位以上及び選択科目14単位以上をあわせて30単位以上を修得しなければならない。情報工学専攻ユビキタス&ユニバーサル情報環境専修にあっては、必修科目8単位、選択必修科目(4科目群から各々2単位以上選択)8単位以上及び選択科目をあわせて30単位以上修得しなければならない。

3 授業科目の履修方法については、別に定める。

第3条の2~第5条 省略

第6条 博士前期課程及び博士後期課程の学生が、学則第76条及び第76条の2(それぞれ第3項を除く。)の規定により他の大学院において修得した単位がある場合には、当該課程を通して10単位を限度として、第3条第2項又は第4条第2項に規定する選択科目の単位数に算入することができる。

2 博士前期課程及び博士後期課程の学生が、他の専攻において修得した 単位及び前条第2項の規定により本学の農学府、生物システム応用科学府 又は連合農学研究科において修得した単位がある場合には、当該課程を 通して10単位を限度として、第3条第2項又は第4条第2項に規定する選択 科目の単位数に算入することができる。

改正

国立大学法人東京農工大学大学院工学府教育規則

平成16年4月1日 16工教 規則第2号

第1条~第2条 省略 (現行どおり)

第3条 前期2年の課程(以下「博士前期課程」という。)の専攻ごとの授業科目及び単位数は、別表第1のとおりとする。

2 博士前期課程の学生は、必修科目6単位及び選択科目24単位以上をあわせて30単位以上を修得しなければならない。ただし、生命工学専攻にあっては、必修科目10単位、選択必修科目6単位以上及び選択科目をあわせて30単位以上修得しなければならない。機械システム工学専攻にあっては、必修科目9単位、選択必修科目6単位以上及び選択科目をあわせて30単位以上修得しなければならない。物理システム工学専攻にあっては、必修科目6単位、選択必修科目10単位以上及び選択科目をあわせて30単位以上修得しなければならない。情報工学専攻情報工学専修にあっては、必修科目6単位、選択必修科目10単位以上及び選択科目14単位以上をあわせて30単位以上を修得しなければならない。情報工学専攻ユビキタス&ユニバーサル情報環境専修にあっては、必修科目8単位、選択必修科目(4科目群から各々2単位以上選択)8単位以上及び選択科目をあわせて30単位以上修得しなければならない。

3 授業科目の履修方法については、別に定める。

第3条2~第5条 省略 (現行どおり)

第6条 博士前期課程及び博士後期課程の学生が、学則第76条及び第76条の2(それぞれ第3項を除く。)の規定により他の大学院において修得した単位がある場合には、当該課程を通して10単位を限度として、第3条第2項又は第4条第2項に規定する選択科目の単位数に算入することができる。

2 博士前期課程及び博士後期課程の学生が、他の専攻において修得した 単位及び前条第2項の規定により本学の農学府、生物システム応用科学府 又は連合農学研究科において修得した単位がある場合には、当該課程を 通して10単位を限度として、第3条第2項又は第4条第2項に規定する選択 科目の単位数に算入することができる。 3 前項の規定により、選択科目の単位数に算入することができる単位は、博士後期課程の学生にあっては、博士後期課程の他の専攻、生物システム 応用科学府博士後期課程及び連合農学研究科の博士課程において修得 した単位とする。

第6条の2~第13条 省略

第14条 この規則に定めるもののほか、教育の実施について必要な事項は、工学府教授会が定める。

附 則 省略

3 前項の規定により、選択科目の単位数に算入することができる単位は、博士後期課程の学生にあっては、博士後期課程の他の専攻、生物システム応用科学府博士後期課程及び一貫制博士課程(3年次から5年次までに限る。)並びに連合農学研究科の博士課程において修得した単位とする。

第6条2~第13条 省略 (現行どおり)

第14条 この規則に定めるもののほか、教育の実施について必要な事項は、工学府教授会の議を経て別に定める。

附 則 省略 (現行どおり)

附 則(工規則第1号)

- 1この規則は平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日現在在学している者の授業科目の名称及び単位数並びに 必修又は選択の別、教育課程については、改正後の規定にかかわらず、なお 従前の例による。

別表第1(第3条関係) 〔博士前期課程〕

生命工学専攻~機械システム工学専攻

物理システム工学専攻

専修名	授 業 科 目	単位数
	□ 固体材料物性工学	2
	□ 原子分子分光学	2
量	□ 量子光学	2
子	<u> 光エレクトロニクス</u>	<u>2</u>
系	□ <u>半導体物性</u>	<u>2</u>
Ι.	□ 超伝導工学	2
学 •	□ ソフトマター物理工学	2
複	□ 磁気物性	<u>2</u>
雑	□ 電子線応用工学	2
系		
Ι.		
学		
	科学特論 I	2
	科学特論Ⅱ	2
	科学特論Ⅲ	2
	科学特論IV	2
	技術マネージメント特論 I	2
	技術革新論	2
	短期インターンシップ	1
	インターンシップ Ι	2
	物理システム特別講義 I	2
	物理システム特別講義Ⅱ	2
	物理システム特別講義Ⅲ	2
	物理システム特別講義IV	2
共	◎ 物理システム工学セミナー I	4
通	物理システム工学セミナーⅡ	4
科	◎ 物理システム工学特別実験	2
目	物理システム工学特別研究	4

別表第1(第3条関係) 〔博士前期課程〕

生命工学専攻~機械システム工学専攻 (現行どおり)

物理システム工学専攻

専修名	授 業 科 目	単位数
	□ 固体材料物性工学	2
	□ 原子分子分光学	2
量	□ 量子光学	2
子		
系		
工	□ 超伝導工学	2
学	□ ソフトマター物理工学	2
· 複		
雑	□ 電子線応用工学	2
系	◇ 応用力学	<u>2</u>
工	◇ 応用電磁気学	<u>2</u>
学	☆ 応用熱統計力学	<u>2</u>
	◇ 応用量子力学	<u>2</u>
	◇ 応用物理数学	<u>2</u>
	科学特論 I	2
	科学特論Ⅱ	2
	科学特論Ⅲ	2
	科学特論IV	2
	技術マネージメント特論 I	2
	技術革新論	2
	短期インターンシップ	1
	インターンシップ I	2
	物理システム特別講義 I	2
	物理システム特別講義Ⅱ	2
	物理システム特別講義Ⅲ	2
	物理システム特別講義IV	2
共	◎ 物理システム工学セミナー I	4
通	物理システム工学セミナーⅡ	4
科	◎ 物理システム工学特別実験	2
目	物理システム工学特別研究	4

※ フロンティア電気電子工学特論 I	2
※ フロンティア電気電子工学特論Ⅱ	2
※ フロンティア電気電子工学特論Ⅲ	2
※ 情報通信工学特論 I	2
※ 情報通信工学特論Ⅱ	2
※ バイオメディカルエレクトロニクス特論 I	2
※ バイオメディカルエレクトロニクス特論Ⅱ	2
◇ 応用力学	<u>2</u>
◇ 応用電磁気学	<u>2</u>
◇ 応用熱統計力学	<u>2</u>
◇ 応用量子力学	<u>2</u>
◇ 応用物理数学	<u>2</u>

◎印の科目は、必修科目

◇印、□印の科目は、選択必修科目(各々6単位以上修得すること)

◎印、◇印、□印以外の科目は、選択科目※印の科目は、連携分野

電気電子工学専攻

専修名	授 業 科 目	単位数
	光電子機能デバイス工学特論	2
電	量子機能デバイス工学特論 I	2
	半導体薄膜工学特論	2
电電子電	信号処理特論	2
メチー	パワーエレクトロニクス特論	2
電子メディア工学気電子システム工学	画像認識工学特論	2
イテ	集積回路設計特論	2
アム	通信工学特論 I	2
一二二	光エレクトロニクス特論	2
一一学	情報入出力システム工学特論	2
•	電磁波応用工学特論 I	2
	磁性体工学特論	2
環境エネルギー 工学	環境エネルキー工学特論 I	2
*半導体ナノ	半導体ナノ構造作製技術特論	2
テクノロジー	半導体ナノテクノロジー講座特別講義 I	2

※ フロンティア電気電子工学特論 I	2
※ フロンティア電気電子工学特論Ⅱ	2
※ フロンティア電気電子工学特論Ⅲ	2
※ 情報通信工学特論 I	2
※ 情報通信工学特論 II	2
※ バイオメディカルエレクトロニクス特論 I	2
※ ハ・イオメディカルエレクトロニクス特論Ⅱ	2

- ◎印の科目は、必修科目
- ◇印、□印の科目は、選択必修科目(◇印の科目は6単位以上及び□印の科目は4単位以上修得すること)
- ◎印、◇印、□印以外の科目は、選択科目
- ※印の科目は、連携分野

電気電子工学専攻

専修名	授業科目	単位数
	光電子機能デバイス工学特論	2
電	量子機能デバイス工学特論 I	2
	半導体薄膜工学特論	2
電子メディア工学気電子システム工学	信号処理特論	2
メチ	パワーエレクトロニクス特論	2
デッ	画像認識工学特論	2
イテ	集積回路設計特論	2
アム	通信工学特論 I	2
- 土工	光エレクトロニクス特論	2
一学	情報入出力システム工学特論	2
	電磁波応用工学特論 I	2
	磁性体工学特論	2
環境エネルギー 工学	環境エネルキー工学特論 I	2
*半導体ナノ	半導体ナノ構造作製技術特論	2
テクノロジー	半導体ナノテクノロジー講座特別講義 I	2

	r -	Ι	
		科学特論 I	2
		科学特論 I	2
		科学特論 I	2
		科学特論Ⅱ	2
		科学特論Ⅱ	2
		科学特論Ⅱ	2
		科学特論Ⅲ	2
		科学特論Ⅲ	2
		科学特論Ⅲ	2
		科学特論IV	2
		科学特論IV	2
		科学特論IV	2
		技術マネージメント特論 I	2
		技術革新論	2
共		短期インターンシップ	1
通		インターンシップ I	2
科 目	0	電気電子工学セミナーI	4
H		電気電子工学セミナーⅡ	4
	0	電気電子工学特別実験	2
		電気電子工学特別研究	4
		電気電子工学実習	2
	*	フロンティア電気電子工学特論 I	2
	*	フロンティア電気電子工学特論Ⅱ	2
	*	フロンティア電気電子工学特論Ⅲ	2
	*	情報通信工学特論 I	2
	*	情報通信工学特論Ⅱ	2
		バイオメディカルエレクトロニクス特論 Ι	2
	*	バイオメディカルエレクトロニクス特論 Ⅱ	2
		電気電子工学専攻特別講義 I	2
		電気電子工学専攻特別講義Ⅱ	2
		電気電子工学専攻特別講義Ⅲ	2
	-		

[◎]印の科目は必修科目

情報工学専攻 情報工学専修

情報工学専攻 ユビキタス&ユニバーサル情報環境専修

	科学特論 I	2
	科学特論Ⅰ	2
	科学特論 I	2
	科学特論Ⅱ	2
	科学特論Ⅱ	2
	科学特論Ⅱ	2
	科学特論Ⅲ	2
	科学特論Ⅲ	2
	科学特論Ⅲ	2
	科学特論IV	2
	科学特論IV	2
	科学特論IV	2
	技術マネージメント特論 I	2
	技術革新論	2
共	短期インターンシップ	1
通 科	インターンシップ I	2
目	◎ 電気電子工学セミナー I	4
	電気電子工学セミナーⅡ	4
	◎ 電気電子工学特別実験	2
	電気電子工学特別研究	4
	電気電子工学実習	2
	※ フロンティア電気電子工学特論 I	2
	※ フロンティア電気電子工学特論Ⅱ	2
	※ フロンティア電気電子工学特論Ⅲ	2
	★ 情報通信工学特論 I	2
	※ 情報通信工学特論 II	2
	※ ハ・イオメディカルエレクトロニクス特論 I	2
	※ バイオメディカルエレクトロニクス特論Ⅱ	2
	電気電子工学専攻特別講義I	2
	電気電子工学専攻特別講義Ⅱ	2
	電気電子工学専攻特別講義Ⅲ	2

- ◎印の科目は必修科目
- ◎印以外の科目は選択科目
- ※印の科目は連携分野
- *印は、寄附講座として平成13年4月1日から平成28年3月31日まで開設

情報工学専攻 情報工学専修 (現行どおり)

情報工学専攻 ユビキタス&ユニバーサル情報環境専修 (現行どおり)

[◎]印以外の科目は選択科目

[※]印の科目は連携分野

^{*}印は、 寄附講座として平成13年4月1日から 平成27年3月31日まで開設

別表第1-2(第3条の2関係) 〔専門職学位課程〕

産業技術専攻

				単位数		
科目	区分等	授業科目の名称 	必修	選 択	自由	修了要件
		技術経営概論		2		
		技術リスク概論		2		
		会計学概論		2	1	
		原価計算入門		2		
	基	企業倫理		2		2科目4
	盤 科	技術企業経営概論		2		単位以
		マーケティング概論		2	1	上
		工業技術標準概論		2		
		産業技術安全学		2	1	
		技術者倫理(専門職)		2	1	
		リサーチ・アト゛ ミニストレーション概論		2	1	
		知的財産マネジメント		2		
		技術企業経営戦略論		2		
	マネジ	知的財産概論		2		
		戦略的ビジネスプラン		2		
共	ジジ	工業標準化戦略論		2		-01 -
通	メン	生命産業知財戦略論		2		2科目4 単位以
科		環境·材料産業知財戦略論		2		上上
目	ト 科	先端機械産業知財戦略論		2		
		情報処理産業知財戦略論		2		
		研究プロジェクトマネジメント		2		
		研究組織マネジメント		2		
		研究・開発調査分析		<u>2</u>		
		機械産業技術論	2			
	,	先端機械技術開発論		2		
	イノ	先端情報システム構築論		2		
	べ	高度情報・通信技術開発論		2		
	1	生命分子産業技術論		2		3科目6
	シ	生命システム産業論		2		単位以
	ヨ	先端材料開発論		2		上※2
	ン 科	環境技術プロジェクトマネジメント		2		
		グラントプロポーザル概論		2		
		産業応用特論		2		

別表第1-2(第3条の2関係) 〔専門職学位課程〕

産業技術専攻

				単位数		
科目	区分等	授業科目の名称	必修	選択	自由	修了要件
		技術経営概論		2	,	
		技術リスク概論	Ī	2		
		会計学概論	Ī	2		
		原価計算入門	1	2		
	基	企業倫理	1	2		2科目4
	盤科	技術企業経営概論		2		単位以
	117 	マーケティング概論		2		上
		工業技術標準概論		2		
		産業技術安全学		2		
		技術者倫理(専門職)		2		
		リサーチ・アト゛ミニストレーション概論		2		
		知的財産マネジメント		2		
		技術企業経営戦略論]	2		
	7	知的財産概論		2		
	マネジ	戦略的ビジネスプラン]	2		
共	ジ	工業標準化戦略論]	2		2科目4
通	メン	生命産業知財戦略論]	2		単位以
科目	ト	環境·材料産業知財戦略論	<u> </u>	2		上上
H	科	先端機械産業知財戦略論		2		
		情報処理産業知財戦略論		2		
	, .	研究プロジェクトマネジメント		2		
		研究組織マネジメント	<u> </u>	2		
		機械産業技術論		2		
		先端機械技術開発論	1	2		
	イノ	先端情報システム構築論	1	2		
	ベ	高度情報・通信技術開発論	1	2		
	1	生命分子産業技術論		2		3科目6
	シ	生命システム産業論]	2		単位以
	3	先端材料開発論]	2		上※2
	ン 科	環境技術プロジェクトマネジメント		2		
		研究・開発調査分析]	<u>2</u>		
		グラントプロポーザル概論		2		
		産業応用特論		2		

l —		The Mile I I I Ale the R Per the T			1	
	技	産業技術実践研究I	4			
	術	ケーススタディ	4			
プ	開	産業技術実践研究II	4			
	グ発 ラ実	プレゼンテーション実習I		2		
ジ	ム践	プレゼンテーション実習II		2		4 H4 (-1-
エ	型	プレゼンテーション実習III		2		4単位 以上
<i>p</i>	プ	プレゼンテーション実習IV		2		<u>М</u> Т
が研	П	インターンシップ		4		
究	~ン研	研究・開発プランニング I	4			
×	プト究	研究・開発プランニングⅡ	4			
1	ー グ オネ	ケーススタディ	4			
	【養ジ	グラントプロポーザル実習		4		4単位
	ム成メ	フィールドスタディ		4		以上

備考

- 1) プロジェクト研究については、履修するプログラムについて、必修科目12単位、選択科目4単位以上、計16単位以上を修得すること。
- 2) イノベーション科目については、1科目2単位まで工学府の他の専攻又は他の学府で履修した科目の単位を算入することができる。

	技 術 開	産業技術実践研究I ケーススタディ 産業技術実践研究II	4 4		
プロジェ	グ実 践型	プレゼンテーション実習I プレゼンテーション実習II プレゼンテーション実習III	1	2 2 2	4単位 以上
クト研究	プロ ローン研	プレゼンテーション実習IV インターンシップ 研究・開発プランニング I	4	2 4	Λ.L
** 1	フログラト人材	研究・開発プランニング I ケーススタディ	4		
	フ養ジム成メ	グラントプロポーザル実習 フィールドスタディ		4	4単位 以上

備考

- 1) プロジェクト研究については、履修するプログラムについて、必修科目12 単位、選択科目4単位以上、計16単位以上を修得すること。
- 2) イノベーション科目については、1科目2単位まで工学府の他の専攻又は他の学府で履修した科目の単位を算入することができる。

別表第2(第4条関係) 〔博士後期課程〕

生命工学専攻~応用化学専攻

機械システム工学専攻

専修名	授 業 科 目	単位数
	流体力学特論Ⅱ	2
	エネルキー・物質伝達特論	2
機	高強度材料解析特論	2
械	非弹性解析学特論	2
物理	固体の変形解析特論	2
工	トライホ゛ロシ゛解析特論	2
学	機械物理工学講座特別講義I	2
	機械物理工学講座特別講義Ⅱ	2
	機械物理工学講座特別講義Ⅲ	2
	機械システム制御設計特論	2
	熱伝達システム特論	2
	ピークルダイナミックス特論	2
	マイクロマシン特論	2
シス	メカトロニクス特論	2
テー	生産加工特論	2
ム	知能ロボット工学特論	2
設	マイクロ加工学特論	2
計工	超精密技術特論	2
学	精密加工学特論	2
Ι'nΓ		
	システム設計工学講座特別講義 I	2
	システム設計工学講座特別講義Ⅱ	2
	システム設計工学講座特別講義Ⅲ	2
機械知能シ	宇宙推進工学特論	2
ステム工学	機械知能システム工学講座特別講義Ⅱ	2
	科学特論V	2
	科学特論VI	2
	科学特論Ⅷ	2
	科学特論Ⅷ	2
	技術マネージメント特論Ⅱ	2

別表第2(第4条関係) 〔博士後期課程〕

生命工学専攻~応用化学専攻(現行どおり)

機械システム工学専攻

専修名	授 業 科 目	単位数
	流体力学特論Ⅱ	2
	エネルキー・物質伝達特論	2
機	高強度材料解析特論	2
械	非弹性解析学特論	2
物理	固体の変形解析特論	2
工	トライホ゛ロシ゛解析特論	2
学	機械物理工学講座特別講義I	2
	機械物理工学講座特別講義Ⅱ	2
	機械物理工学講座特別講義Ⅲ	2
	機械システム制御設計特論	2
	熱伝達システム特論	2
	ヒ゛ークルタ゛イナミックス特論	2
	マイクロマシン特論	2
シス	メカトロニクス特論	2
テ	生産加工特論	2
A	知能ロボット工学特論	2
設	マイクロ加工学特論	2
計 工	超精密技術特論	2
学	精密加工学特論	2
·	BioMEMS特論	<u>2</u>
	システム設計工学講座特別講義 I	2
	システム設計工学講座特別講義Ⅱ	2
	システム設計工学講座特別講義Ⅲ	2
機械知能シ	宇宙推進工学特論	2
ステム工学	機械知能システム工学講座特別講義Ⅱ	2
	科学特論V	2
	科学特論VI	2
	科学特論Ⅶ	2
	科学特論Ⅷ	2
[技術マネージメント特論Ⅱ	2

_		
	工学府特別講義()	2
	工学府特別講義()	2
	工学府特別講義()	2
	工学府特別講義(国際コミュニケーション I)	1
	工学府特別講義(国際コミュニケーションⅡ)	1
共	工学府特別講義(国際コミュニケーションⅢ)	1
通	研究マネジメント特論(イノベーション)	2
科	インターンシップ Ⅱ	2
目	機械システム工学特別講義 I	2
	機械システム工学特別講義Ⅱ	2
	◎ 機械システム工学特別セミナー I	2
	機械システム工学特別セミナーⅡ	2
	機械システム工学特別セミナーⅢ	2
	◎ 特別計画研究	6
	特別教育研修	2
	※ フロンティア機械システム特論IV	2
	※ フロンティア機械システム特論 V	2
	※ フロンティア機械システム特論VI	2
	機械システム工学特別実習	2
051 511	11 11 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 1	•

◎印の科目は必修科目

◎印以外の科目は選択科目

※印の科目は連携分野

電子情報工学専攻

専修名	授 業 科 目	単位数
	量子機能材料工学特論	<u>2</u>
	原子分子物理工学特論	<u>2</u>
	量子光学特論	<u>2</u>
物	量子光電子工学特論	2
理応	光材料物性工学特論	2
用用	超伝導工学特論	<u>2</u>
工	ソフトマター物理工学特論	<u>2</u>
学	磁気物性工学特論	2
	電子線応用工学特論	2
	物理応用工学講座特別講義 I	2
	物理応用工学講座特別講義Ⅱ	2
	物理応用工学講座特別講義Ⅲ	2

	工学府特別講義()	2
	工学府特別講義()	2
	工学府特別講義()	2
	工学府特別講義(国際コミュニケーション I)	1
	工学府特別講義(国際コミュニケーションⅡ)	1
共	工学府特別講義(国際コミュニケーションⅢ)	1
通	研究マネジメント特論(イノベーション)	2
科	インターンシップ Ⅱ	2
目	機械システム工学特別講義 I	2
	機械システム工学特別講義Ⅱ	2
	◎ 機械システム工学特別セミナー I	2
	機械システム工学特別セミナーⅡ	2
	機械システム工学特別セミナーⅢ	2
	◎ 特別計画研究	6
	特別教育研修	2
	※ フロンティア機械システム特論IV	2
	※ フロンティア機械システム特論 V	2
	※ フロンティア機械システム特論VI	2
	機械システム工学特別実習	2

◎印の科目は必修科目

◎印以外の科目は選択科目

※印の科目は連携分野

電子情報工学専攻

	月秋二十号久	
専修名	授 業 科 目	単位数
	固体デバイス工学特論	<u>2</u>
物	量子光電子工学特論	2
理 応	半導体物性工学特論	2
用		
工		
学	磁気物性工学特論	2
	電子線応用工学特論	2
	物理応用工学講座特別講義 I	2
	物理応用工学講座特別講義Ⅱ	2
	物理応用工学講座特別講義Ⅲ	2

(

	11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	半導体機能集積工学特論	2
	ナノデバイス工学特論	2
	量子機能デバイス工学特論Ⅱ	2
	電子機能素子工学特論	2
電	動画像処理特論	2
子	新エネルギー工学特論	2
応	計測制御工学特論	2
用	知能集積システム特論	<u>2</u>
工	通信工学特論Ⅱ	2
学	システムフォトニクス特論	2
	電磁波応用工学特論Ⅱ	2
	電子応用工学講座特別講義I	2
	電子応用工学講座特別講義Ⅱ	2
	電子応用工学講座特別講義Ⅲ	2
	知覚システム特論	2
	◇ アルゴリズム解析特論	2
	知的ロボット工学特論	2
知	◇ ネットワークアーキテクチャ特論	2
能	◇ 仮想環境創造工学特論	2
•	◇ ヒューマンインタフェース特論	2
情 報	◇ サイバネティックシステム特論	2
工	知能情報工学講座特別講義I	2
学	知能情報工学講座特別講義Ⅱ	2
,	並列処理特論	2
	計算機システム特論	2
	ディヘ゜ンダブルコンヒ゜ューティング、特論	2
環境エネル	環境エネルギー工学特論Ⅱ	2
ギー工学	環境エネルギー工学講座特別講義Ⅱ	2
*半導体ナノ	半導体ナノ構造デバイス特論	2
テクノロジー	半導体ナノテクノロジー講座特別講義Ⅱ	2
	4414.1/1/164 1441年1月17月14年42日	-

	半導体機能集積工学特論	2
	ナノデバイス工学特論	2
	量子機能デバイス工学特論Ⅱ	2
	電子機能素子工学特論	2
電	動画像処理特論	2
子	新エネルギー工学特論	2
応	計測制御工学特論	2
用		
工 学	通信工学特論Ⅱ	2
子	システムフォトニクス特論	2
	電磁波応用工学特論Ⅱ	2
	電子応用工学講座特別講義I	2
	電子応用工学講座特別講義Ⅱ	2
	電子応用工学講座特別講義Ⅲ	2
	知覚システム特論	2
	◇ アルゴリス、ム解析特論	2
	知的ロボット工学特論	2
知	◇ マルチメディアネットワーク特論	2
能	◇ 仮想環境創造工学特論	2
• 情	◇ ヒューマンインタフェース特論	2
報	◇ サイハ・ネティックシステム特論	2
エ	知能情報工学講座特別講義 I	2
学	知能情報工学講座特別講義Ⅱ	2
	並列処理特論	2
	計算機システム特論	2
	ディヘ゜ンダブルコンピューティング特論	2
環境エネル	環境エネルギー工学特論Ⅱ	2
ギー工学	環境エネルギー工学講座特別講義Ⅱ	2
*半導体ナノ	半導体ナノ構造デバイス特論	2
テクノロジー	半導体ナノテクノロシー講座特別講義Ⅱ	2

	科学特論V	2
	科学特論VI	2
	科学特論Ⅶ	2
	科学特論Ⅷ	2
	技術マネージメント特論Ⅱ	2
	工学府特別講義()	2
	工学府特別講義()	2
	工学府特別講義()	2
	工学府特別講義(国際コミュニケーション I)	1
	工学府特別講義(国際コミュニケーションⅡ)	1
	工学府特別講義(国際コミュニケーションⅢ)	1
	研究マネジメント特論(イノベーション)	2
	インターンシップ Ⅱ	2
共	★ 科学日本語特論	1
通	★ 科学英語特論 I	1
科	★ 科学英語特論 II	1
目	★ 科学英語特論III	1
	★ グラントプロポーザル特論(イノベーション)	1
	★ 海外研修教育(イノベーション)	1
	電子情報工学特別講義I	2
	電子情報工学特別講義Ⅱ	2
	◎ 電子情報工学特別セミナー I	2
	電子情報工学特別セミナーⅡ	2
	電子情報工学特別セミナーⅢ	2
	◎ 特別計画研究	6
	特別教育研修	2
	※ 電気電子工学フロンティア講義IV	2
	※ 電気電子工学フロンティア講義V	2
	※ 電気電子工学フロンティア講義VI	2
OF TO AN II	電子情報工学特別実習	2

- ◎印の科目は、必修科目
- ◎印以外の科目は、選択科目
- ※印の科目は、連携分野
- ◇印の科目は、選択必修科目(ただし、博士前期課程情報工学専攻情報工 学専修の学生のみ)
- *印は、寄附講座として平成13年4月1日から<u>平成27年3月31日</u>まで開設
- ★印の科目は、科学立国人材育成プログラム用授業科目として開設

別紙様式1 省略

	科学特論V	2
	科学特論VI	2
	科学特論VII	2
	科学特論VII	2
	技術マネージメント特論Ⅱ	2
	工学府特別講義()	2
	工学府特別講義()	2
	工学府特別講義()	2
	工学府特別講義(国際コミュニケーション I)	1
	工学府特別講義(国際コミュニケーションⅡ)	1
	工学府特別講義(国際コミュニケーションⅢ)	1
	研究マネジメント特論(イノベーション)	2
	インターンシップ II	2
共	★ 科学日本語特論	1
通	★ 科学英語特論 I	1
科	★ 科学英語特論 II	1
目	★ 科学英語特論III	1
	★ グラントプロポーザル特論(イノベーション)	1
	★ 海外研修教育(イノベーション)	1
	電子情報工学特別講義I	2
	電子情報工学特別講義Ⅱ	2
	◎ 電子情報工学特別セミナー I	2
	電子情報工学特別セミナーⅡ	2
	電子情報工学特別セミナーⅢ	2
	◎ 特別計画研究	6
	特別教育研修	2
	※ 電気電子工学フロンティア講義IV	2
	※ 電気電子工学フロンティア講義 V	2
	※ 電気電子工学フロンティア講義VI	2
	電子情報工学特別実習	2

- ◎印の科目は、必修科目
- ◎印以外の科目は、選択科目
- ※印の科目は、連携分野
- ◇印の科目は、選択必修科目(ただし、博士前期課程情報工学専攻情報工 学専修の学生のみ)
- *印は、寄附講座として平成13年4月1日から平成28年3月31日まで開設
- ★印の科目は、科学立国人材育成プログラム用授業科目として開設

別紙様式1 省略 (現行どおり)